

カナダの金融市場動向 Weekly Report

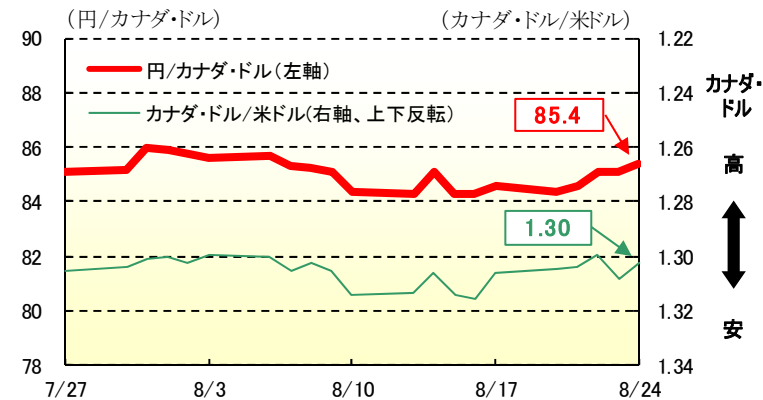
【2018年8月18日～2018年8月24日の推移】

【1】先週の回顧

先週のカナダ・ドルは対円、対米ドルで上昇しました。カナダ5年国債利回りはおおむね横ばいでした。

米国とメキシコの間でのNAFTA(北米自由貿易協定)再交渉が合意に近づいているとの報道や、原油価格が堅調に推移したことなどがカナダ・ドル上昇の要因になりました。また、米ドル円が堅調に推移したこともカナダ・ドル円への追い風となりました。経済指標では小売売上高の発表がありました。結果は市場予想に一致しカナダ・ドルやカナダ金利への反応は限定的でした。

【カナダ・ドル 為替推移】 (2018年7月27日～2018年8月24日)



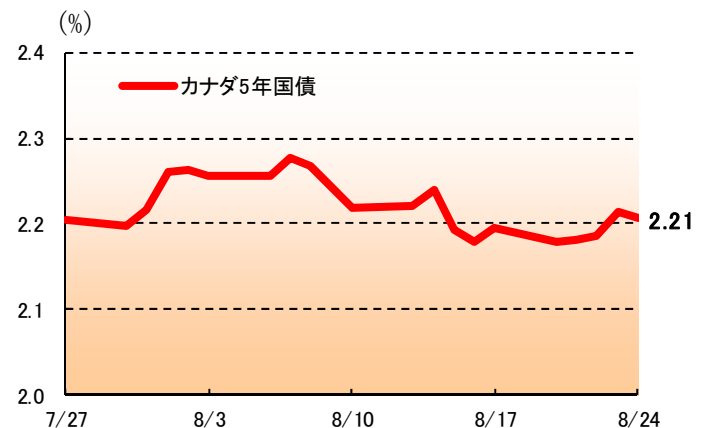
※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。
(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

【2】今週の見通し

今週は、GDP(国内総生産)などの経済指標の発表が予定されています。4-6月期のGDPは年率換算で3%超の成長が予想されています。

米国とメキシコの間で協議が続けられてきたNAFTA再交渉については、27日(現地、以下同様)に両国の間で大筋合意に達したと報じられています。焦点の1つであった自動車関税の扱いについては、域内の部材調達比率が75%以上であることが自動車関税ゼロの条件となる模様です。28日以降にカナダも協議に復帰する予定であり、3国間で合意に至るか注目が集まります。

【カナダ 金利推移】 (2018年7月27日～2018年8月24日)



(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託フリーダイヤル0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>